

宮崎県建築士会・ひむかへリテージ機構 令和7年度講習会
令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金（宮崎県文化遺産活性化事業）



地域の身近な歴史的建造物について一緒に考えてみませんか？

本年度、3回の講習会を実施します。講習会の参加者を募集いたします。

どなたでも参加できます（参加料が必要です）。多くの方の参加をお待ちしております。

「ひむかへリテージ機構」とは

宮崎県ヘリテージマネージャー養成講習会修了生を中心に平成30年に結成されました。ヘリテージマネージャーは、地域に眠る身近な歴史的建造物を発見し、その保存・活用について協力・助言できる専門家です。阪神・淡路大震災をきっかけに兵庫県で生まれました。

第1回講習会

「地域の文化財を継承するために～歴史的建造物を活かし、経済を回すには～」

日時 令和8年2月8日（日）13:30～17:00

会場 美々津珈琲（日向市美々津町3073）

※スーパーだった建物をリノベーションし、昨年6月にオープンしたカフェ。駐車場については別途連絡します。

※美々津見学会も実施します。

講師 豊田 雅子氏（NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト代表）、日向市文化財担当者

参加料 500円 定員 40名



内容 古より神武天皇の東征出発港とされる日向市美々津は、江戸時代から明治・大正期にかけて廻船業で栄えた港町で、その歴史的な町並みは昭和61（1986）年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。美々津では現在、古民家を活用したカフェや店舗、ゲストハウスなど、新しい活用が始まっています。近年、町並み・建築が注目され、国内外の来訪者を惹きつける広島県尾道市より講師を招き、空き家再生の仕組みや移住者・古民家オーナーも含めた組織づくりなど、歴史的資産を活かした活性化について考えます。

第2回講習会

「地域の価値ある建築を守り継承する ～所有者の本音とは～」

日時 令和8年3月5日（木）18:00～21:00

会場 宮崎市民プラザ 大会議室（宮崎市橋通西1-1-2）

講師 木島 千嘉氏（木島千嘉建築設計事務所代表）

岩元 真明氏（九州大学大学院芸術工科研究所准教授）

池田 祐子氏（街の木工房リトルクラフト代表

・登録有形文化財 池田家住宅所有者）

参加料 500円 定員 40名



内容 熊本大学で教鞭をとられていた木島安史さんが熊本市から阿蘇市へ移築保存・住居へと改修した「孤風院」(写真)。受け継いだ長女の千嘉さんがどのような活用を模索されたのか、周囲の方々からどのような支援があったのか、今後の展開の可能性についても話をお聞きます。また、昨年行われた孤風院見学会のトークセッションにも登壇し、同じ阿蘇エリアである小国町を中心に葉祥栄氏設計の建築継承にも携わる岩元真明氏より、歴史的建造物の継承に必要な支援環境、地域の方へ建造物の価値をどう広めていくかなどについてお話いただきます。県内の歴史的建造物の所有者がどのように受け継いでいるのかについての現状と課題も、ヘリテージマネージャーや所有者、県市町村の文化財担当者等と共有し、今後のネットワーク強化、活動につなげます。

第3回講習会

「宮崎県の文化財、これからどうする？」

日時 令和8年3月7日(土) 13:00~17:00

会場 宮崎県企業局 県電ホール(宮崎市旭1-2-2)

講師 菅澤 茂氏(菅澤1級建築士事務所代表、上級文化財保存修理技術者)ほか

参加料 500円 定員 40名

内容 宮崎県内の文化財について、現状と今後の取組、各市町村が抱える問題点について、都城島津邸(都城市、写真)や旧吉松家住宅(串間市)等の修繕監理を務めた菅澤茂氏、地域の文化財担当者の話から考えます。地域の文化財を遺していくために、ヘリテージマネージャーや地域住民がどのような取り組みをしていけばいいのか、県内の状況を共有し今後の展開について検討していきます。



■お申込み、また案内を希望される方は必要事項をご記入の上、メールにてお申し込みください。なお、お預かりした個人情報は当機構の活動以外の目的には一切使用いたしません。

氏名(ふりがな)

居住地 ()市・町・村

TEL(自宅・勤務先・携帯)※必ずご記入ください。

Email

【主催】(一社)宮崎県建築士会 【共催】ひむかヘリテージ機構

【お申込み・お問い合わせ】ひむかヘリテージ機構 info.hho.2018@gmail.com

※ひむかヘリテージ機構の会員登録(入会金3000円、現在年会費等はありません)をご希望の方は、ぜひお問い合わせください。講習会当日のご入会も可能です。